植物 (羊)オホハナワラビ，ハヒホラゴケ，カウザキシダ，オホミツデ，ミドリワラビ，ヒカゲワラビ，マルバベニシダ，ミヤマイタチシダ，ナガバノイタチシダ，ウラボシノコギリシダ，フモトシダ，クリハラン，ヌカボシクリハラン，ツルデンダ，オホバノハチヂヤウシダ，オホバノアマクサシダ，アマクサシダ，チヤセンシダ，ヲサシダ，ヒトツバ，ヒメカナワラビ(キヨスミシダ)，(單)ハヒチゴザサ，アヅマスゲ，タカネマスクサ，オモト，ヒメドコロ，キクバドコロ，ハナメウガ，マメヅタラン，ナツエビネ，シユスラン，アツモリサウ，クモキリサウ，セキコク，(離)ヤマネコヤナギ，ヨグソミネバリ，ツクバネガシ，ウラジロガシ，ナカバウラジロガシ(原產地の一つ)，ウバメガシ，イチヰガシ，オホイタビ，ヤナギイチゴ，マツグミ，オホバヤドリギ，ヒノキバヤドリギ，ヤマトグサ，スハマサウ，バリバリノキ，カゴノキ，リンボク，マメザクラ，バクチノキ，ナンキンナナカマド，ミヤマトベラ，フユザンセウ，カラスザンセウ，ウチダシミヤマシキミ(原產地の一つ)，ヒメユヅリハ，タラエフ，クロガネモチ，サハダツ，ネコノチチ，モクコク，コミヤマスミレ，コセウノキ，マルバグミ，マルバアキグミ，ツボクサ，オホバチドメ，クマノミヅキ，(合)コバノミツバツヽジ，シヤシヤンボ，モロコシサウ，タイミンタチバナ，イヅセンリヤウ，ホウライカヅラ，サカキカヅラ，シタキサウ，キジヨラン，マルバチシヤノキ，ヒキオコシ，マルバノホロシ，ハンクワイアザミ，キヨスミウツボ，ヤマムグラ，ツルアリドホシ，ジユズネノキ，サツマイナモリ，カギカヅラ，テリハコバノガマズミ，ムラサキニガナ，ヒメガンクビサウ，ヌマダイコン，テイシヤウサウ，アキハギク(キヨスミギク)。

文獻 大久保三郎：マメヅタラン，植雜 1：14, pl. 3 (明 20)。池野成一郎：〔清澄山採集植物目錄〕(千葉縣下採集植物目錄)，植雜 2：91—98 (明 21)。 筆者不明：總房地方植物採集紀行，植雜 8：157—164 (明 27)。市村塘・安田篤：〔三本松より清澄山間にて採集せし植物〕(總房地方植物採集紀行)，植雜 8：161—162 (明 27)。松村任三：一千八百九十七年安房・上總〔概ね清澄山〕に於て觀察の木本植物，植雜 14：2—4, 13—15, 25—26, 35—36, 57—59 (明 33)。松村任三：清澄山樹木「植物採集便覽」181—189 (明 33)。東大農學部演習林：「東京帝國大學農學部千葉縣演習林見本林要覽」1—18 (大 15)。與世里盛春：植物學上より見たる清澄山，千葉博 3：8—9 (昭 6)。 久内淸孝：秋葉ぎく(北村)淸澄ぎく(牧野)，植硏 11：142—143 (昭 10)。矢島嘉津雄：淸澄山植物採集旅行記，農大植部誌 3：17—19 (昭 10)。 小泉源一：淸澄女竹，植分 9：152 (昭 15)。

○イリオモテニシキサウが九州本土に來た (外山三郎)

私は昭和18年8月イリオモテニシキサウ *Chamaesyce thymifolia* Millsp. を肥前島原半島南端の加津佐町の路傍や人家の庭先でみたが，これが最近長崎市浦上方面の戰災跡に澤山發生してコニシキサウ同樣，全く土着の狀態になりはじめた。